

津山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議(第60回)  
〈書面開催〉

日 時：令和5年1月31日(火)

1 開 会

2 議 題

(1) 国・県・市の対応状況について(事務局)

(2) 感染症拡大防止について(事務局)

(3) その他

3 閉 会

## 津山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

	氏 名	役職
津山市長	谷口 圭三	本部長
津山市副市長	桑村 功士	副本部長
津山市副市長	野口 薫	副本部長
津山市教育委員会教育長	有本 明彦	副本部長
津山圏域消防組合消防長	水田 啓介	副本部長
企画財政部長	左居 薫	
企画財政部参与	平井 良幸	
総務部長	三浦 英俊	
総務部参与	落合 勉	
総務部参与	森上 讓	
税務部長	尾高 弘毅	
環境福祉部長	朝田 一	
環境福祉部参与	木梨 良祐	
こども保健部長	奥田 賢二	
産業経済部長	明楽 智雄	
観光文化部長	今村 弘樹	
農林部長	中川 竜二	
都市建設部長	山本 将司	
地域振興部長	藤井 浩次	
水道局長	小林 和弘	
教育次長	栗野 道夫	

### 【事務局】

こども保健部次長兼健康増進課長	鏡 真由美	
こども保健部次長兼ワクチン接種推進室長	谷口 克典	
こども保健部こども保育課長	金田 郁	
こども保健部企画参事	坂元 勝之	
こども保健部健康増進課主幹	森上 真由美	
こども保健部ワクチン接種推進室主幹兼健康増進課主幹	町田 知己	
総務部危機管理室長	西村 敏之	

## (1) 国・県・市の対応状況について

### 1) 国の対応状況（1月13日以降）

- ・ 1/27 新型コロナ感染法上の位置づけの変更等に関する対応方針について等

### 2) 県の対応状況（1月13日以降）

- ・ 1/20 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・ 1/30 県内のイベント開催についての要請の見直しについて

県内で確認された新型コロナウイルス感染者の療養状況【1月25日時点】（単位：件）

時点	合計	確保病床に入院中		一般病床 に入院中	宿泊療養 施設に 入所中	自宅療養中		調整中	退院等	死亡
		(病床 使用率)	うち 重症者			うち 社会福祉 施設等で 療養中				
今週	468,487	400 (64.2%)	13	197	73	9,971	400	3	457,083	760 (530)
先週か らの 増減	+10,644	▲40 (▲7.8%)	▲5	▲108	▲67	▲7,293	+318	▲6	+18,124	+34 (+20)

( ) 内は、死亡のうち新型コロナウイルス感染症による死亡

【県内の患者発生状況（令和5年1月31日現在）】

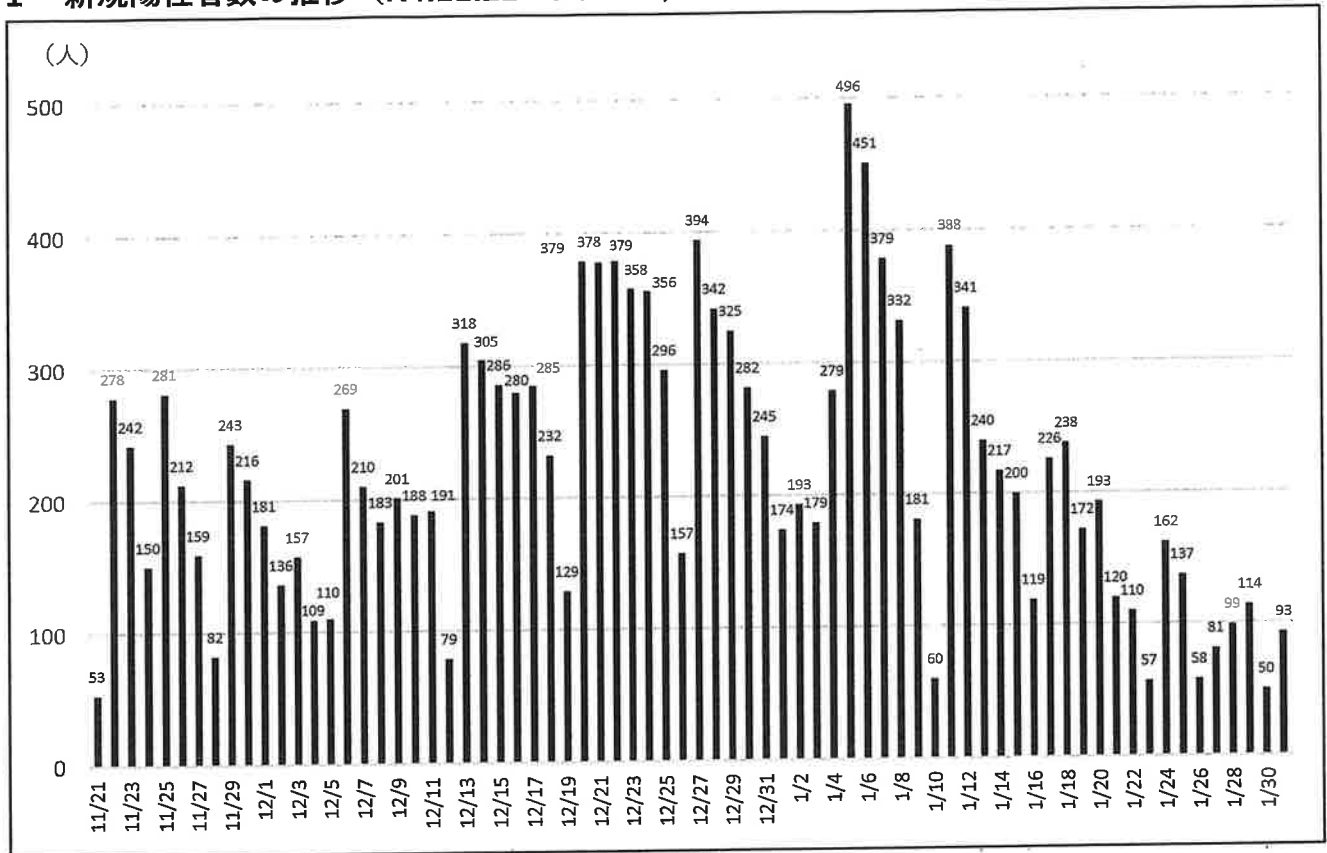
474,152 例

### 3) 市の対応状況（12月21日以降）

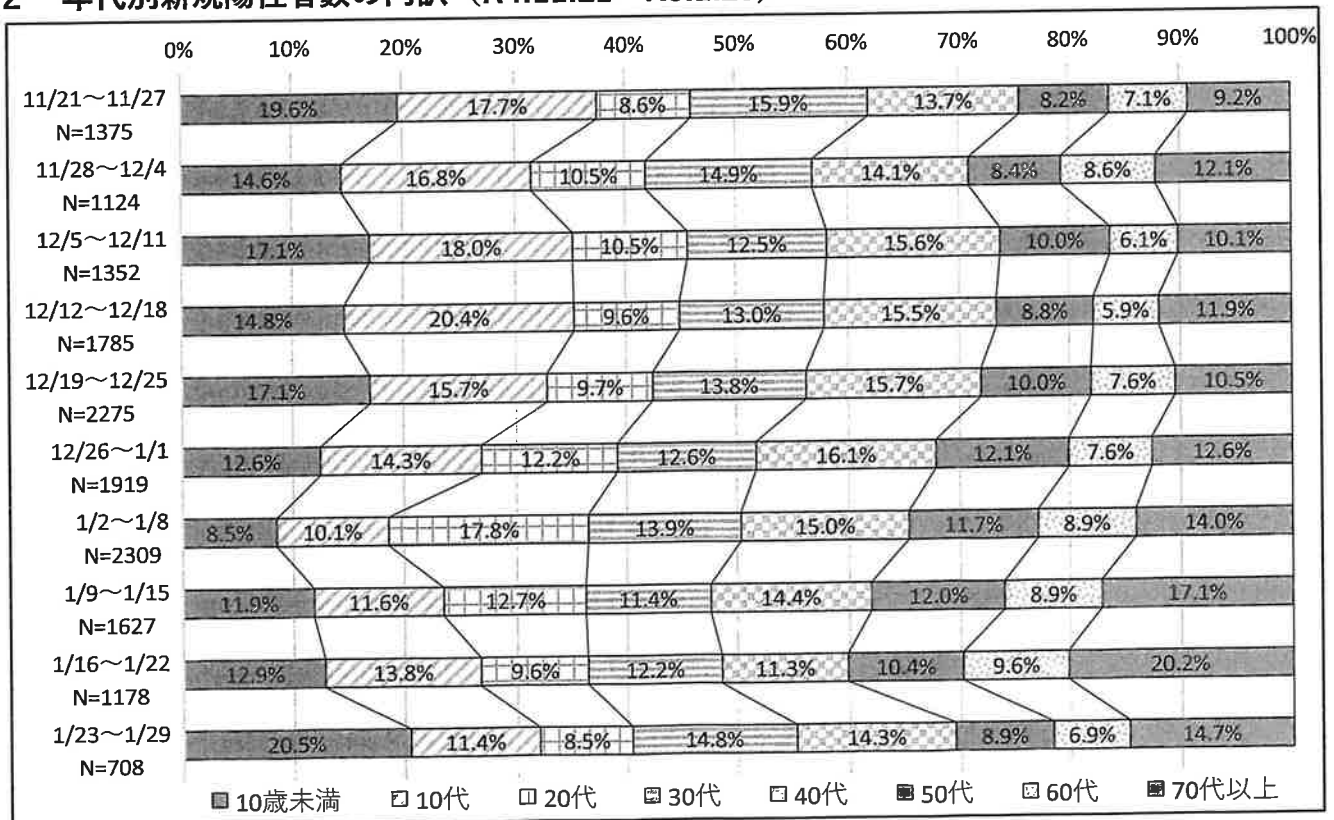
- ・ 1/13 第59回津山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催
- ・ 1/31 第60回津山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催（書面開催）

# 美作保健所管内の感染者の状況

## 1 新規陽性者数の推移 (R4.11.21~R5.1.31)



## 2 年代別新規陽性者数の内訳 (R4.11.21~R5.1.29)



※百分比は(%)は、少数第2位を四捨五入し、少数第1位までを表示した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。

## (2) 感染症拡大防止について

令和5年1月31日

津山市新型コロナウイルス感染症対策本部

- 1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、次のポイントにご留意ください。

### 【生活場面での注意点】

- ・ 下記の「マスクコード」を遵守する。
  - ・ マスクを正しく着用する
  - ・ マスクを顔にすき間なくフィットさせ、しっかり着用を
  - ・ 布やウレタンより不織布の方が感染予防効果等が高いことが示されています
- 話すときは「マスク会話」（休憩時間などは、気が緩みがちなので特に注意を）
- 食事のときも話をするなら必ずマスク
- ・ 屋外で、人と2m以上離れているときは、マスクの着用は必要ない。
- ・ 会食は、できるだけ少人数・短時間で大声を出さないようにする。
- ・ 新しい生活様式（手洗い、手指消毒、マスク着用、消毒液の携帯、人との距離の確保など）を徹底する。
- ・ 密閉、密集、密接の「3つの密」の回避を徹底する。特に、暖房時でも定期的に空気を入れ替えるなど、換気を徹底する。

### 【体調不良時の備えを】

- ・ 発熱等の体調不良時に備えて、抗原定性検査キットや自宅療養に必要な解熱鎮痛薬等を、あらかじめ購入しておきましょう。
  - 「研究用」ではなく国が承認した「体外診断用医薬品」（医療用）もしくは「第一類医薬品」（一般用）の抗原定性検査キットを購入しましょう。

### 【外出に向けての注意点】

- ・ 発熱、のどの痛み、咳、倦怠感など少しでも体調が悪い場合は、外出を控えること。
- ・ 混雑した場所や感染リスクが高い場所へ外出する場合は、感染防止策をより一層徹底する。
- ・ 第三者認証店など、感染対策が徹底されている飲食店を利用する。

### 【適切な受診を】

- ・13歳から64歳までの重症者リスク因子がない方で、症状が軽い場合は、抗原定性検査キットを用い、なるべく陽性者診断センターを利用すること。
- ・受診する際は、休日や夜間ではなく、なるべく平日の日中に、かかりつけ医や最寄りの診療・検査医療機関（発熱外来）を受診すること。
- ・救急外来及び救急車の利用は、真に必要な場合に限ること。

## 2 イベント等を開催する場合、次のポイントにご留意ください。

○次の要件に従って、必要な感染防止策を徹底すること

- ・感染防止対策（手洗い、手指消毒、マスク着用、換気、消毒液の設置、注意喚起チラシ等の掲示、参加者が共通に触れる場所・設備等の消毒、会場での飲食制限）を徹底すること
- ・業種別ガイドラインの遵守を徹底すること
- ・岡山県が要請する「県内でのイベント開催について」の留意点を遵守すること

## 3 ワクチン接種について

新型コロナウイルス感染症、季節性インフルエンザそれぞれのワクチンについて早めに接種しましょう。

### ・新型コロナワクチン

発症や重症化を防ぐため、オミクロン株対応ワクチンの早めの接種を受けましょう。

### ・インフルエンザワクチン

接種を希望される方は、早めに接種を受けましょう。（2月末まで）